

こしわ 越王だより

家庭数配布

地域回覧

発行所 新潟市立巻北小学校



<http://www.makikita.city-niigata.ed.jp/>

令和3年4月26日 No. 2



「心のこもったあいさつ」と「思いやり」

校長 上澤田 誠

新学期がスタートして間もなく、ひと月が経とうとしています。どの学年でも、一学年進級して少し大人っぽくなった自分を見せようと、はりきって過ごしている様子が感じられます。

1年生も入学当初は少し緊張した様子でしたが、校舎探検をして学校の様子が分かってきたり、おいしい給食に満足したりしているうちに少しずつ学校に慣れてきたようです。最初は担当の職員や保護者の皆さんに誘導されながらの下校でしたが、今ではもう、自分たちで下校できるようになっています。

先日、毎日下校を見守ってくださっている地域の方から、こんなお話を伺いました。

今日初めて給食を食べたことを嬉しそうに報告してくれた1年生に、「今度、給食でどんなものを食べたか、おじさんにも教えてもらえとうれしいなあ」と話したところ、それからというもの、律儀にも、毎日何を食べたか、感想も加えて報告してくれるのだそうです。

「今日は、シュウマイが出た。とってもおいしかった。」

「今日は、カレーでした。おなかがいっぱいになりました。」

その地域の方は、すれ違う1年生が次々と報告してくれる様子を嬉しそうにお話しされていました。

「自分たちの下校を見守ってくれている人からのお願いだから、きちんと応えなきゃ」

おそらく、1年生なりにしっかりと考え、ちゃんと義理を果たしているのでしょう。また、自分たちの話を嬉しそうに聞いてくださる姿を見て、「もっと伝えなきゃ」と思っているのかもしれませんが。

1年生の子どもたちが毎日続けている『給食献立の報告』は、自分たちを毎日見守ってくださっている地域の方に対する「心のこもったあいさつ」となっているようです。



巻北小学校の教育目標のある『礼をする』では、「心のこもったあいさつ」を目指す姿の1つとしています。「相手の立場や気持ち、自分とのかかわりを考えながら、進んであいさつをすること」は「思いやりの心」に直結します。また、これからの社会を生きるうえで必要とされる「多様な人々と積極的にかかわっていく力」を育むことにも繋がっていきます。

巻北小学校では、学校内外の様々な人とかかわる教育活動を通して、「心のこもったあいさつ」と「自分を見つめ、相手を思いやる」ことのできる力を子どもたちに育むことに力を入れてまいります。

ぜひ、保護者・地域の皆様からも、北っ子を見守り、育んでいただきますようお願いいたします。